



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 東邦化学工業株式会社

コード番号 4409 URL <https://toho-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中崎 龍雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理本部長 (氏名) 井上 豊 TEL 03-5550-3735

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	18,883	△10.0	255	△72.9	99	△85.1	△59	—
2020年3月期第2四半期	20,973	△5.7	944	△2.9	664	△15.7	572	15.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 325百万円 (△12.4%) 2020年3月期第2四半期 371百万円 (△49.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△2.77	—
2020年3月期第2四半期	26.83	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	53,960	13,584	25.0
2020年3月期	53,298	13,580	25.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 13,514百万円 2020年3月期 13,509百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	△7.5	1,030	△48.7	850	△49.4	500	△63.7	23.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：有

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	21,350,000株	2020年3月期	21,350,000株
2021年3月期2Q	21,990株	2020年3月期	21,990株
2021年3月期2Q	21,328,010株	2020年3月期2Q	21,328,036株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う国内外の経済活動の停滞により、景気が急速に悪化しました。足許では持ち直しの動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症の流行が収束しない中、失業率の上昇や所得環境の悪化に伴う個人消費の低迷長期化や、企業業績の悪化に伴う設備投資の減少などが懸念され、当面は厳しい環境が続くことが予想されます。

化学業界においても、自動車をはじめとする多くの産業分野で需要が減少し、事業環境は悪化しました。半導体関連材料の需要は堅調を維持しており、自動車生産等では回復の動きが見られますが、多くの産業分野ではコロナ禍以前の水準への需要回復には時間を要することが懸念され、厳しい状況が続くことが見込まれます。

このような厳しい経営環境下、当社グループにおいても自動車関連向け製品をはじめ、幅広い分野にわたって需要が落ち込みました。第2四半期は、第1四半期と比較すると回復の兆しが見られましたが、前年同期との比較では依然として低調が続き、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比2,089百万円、10.0%減収の18,883百万円と、大幅な減収となりました。

損益面につきましては、大幅な売上減少による収益の悪化に加え、原材料価格の急落に伴って第1四半期に計上した在庫評価損(517百万円)及びたな卸資産の評価方法の変更に伴う損益へのマイナス影響(93百万円)もあり、当第2四半期連結累計期間の営業利益は前年同期比688百万円減益の255百万円、経常利益は前年同期比565百万円減益の99百万円となりました。また、100%子会社であった東邦化学倉庫株式会社の吸収合併に当たり、従来資産計上していた繰延税金資産を評価性引当額としたことによって法人税等が62百万円増加したこともあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は59百万円の損失(前年同期は572百万円の利益)と、赤字計上を余儀なくされました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

## (界面活性剤)

香粧原料は、シャンプー用基剤の販売が増加した一方、リンス・コンディショナー用基剤等の販売が低調で減収となりました。プラスチック用添加剤は、乳化重合剤等の落ち込みを主因に減収となりました。土木建築用薬剤は、コンクリート用関連薬剤が振るわず減収となりました。農薬助剤は、国内外ともに販売が好調で、大幅な増収となりました。繊維助剤は、中国での販売は堅調を維持したものの国内販売が振るわず減収となりました。紙パルプ用薬剤は、消泡剤や脱墨剤が低調で減収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比974百万円、8.3%減収の10,774百万円となり、セグメント利益は、前年同期比373百万円減益の316百万円となりました。なお、セグメント利益の中には在庫評価損299百万円が含まれております。

## (樹脂)

石油樹脂は、大口ユーザーでの生産調整を主因に減収となりました。合成樹脂は、冷蔵機器用断熱ウレタンフォーム原液等が不振で、大幅な減収となりました。樹脂エマルションは、フローポリッシュ用等が低調で減収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比256百万円、18.5%減収の1,132百万円となり、セグメント損失は、79百万円(前年同期は3百万円の損失)となりました。なお、セグメント損失の中には在庫評価損19百万円が含まれております。

## (化成品)

合成ゴム・ABS樹脂用ロジン系乳化重合剤は、国内外ともに自動車関連需要が落ち込み、3割を超える大幅な減収となりました。金属加工油剤は、水溶性切削油剤の大口ユーザー向け販売が低調で、大幅な減収となりました。石油添加剤は、国内外ともに不振で、大幅な減収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比773百万円、29.1%減収の1,879百万円となり、セグメント損失は10百万円(前年同期は74百万円の利益)となりました。なお、セグメント損失の中には在庫評価損52百万円が含まれております。

(スペシャリティーケミカル)

溶剤は、ブレイキ液基剤の販売の落ち込みを主因に減収となりました。電子情報産業用の微細加工用樹脂は、半導体関連の販売が堅調で増収となりました。アクリレートは、中国市場での販売は略前期並だったものの、国内販売が振るわず減収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比79百万円、1.5%減収の5,063百万円となり、セグメント利益は、前年同期比71百万円減益の105百万円となりました。なお、セグメント利益の中には在庫評価損143百万円が含まれております。

なお、上記の各セグメント利益又は損失の前年同期比の数値は、後記P. 10 (セグメント情報) 「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」の表における「報告セグメント」の比較情報です。

その他に、各セグメントに帰属しない調整額(棚卸資産の調整額等)が△66百万円(前年同期は12百万円)あります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、53,960百万円と前期末比661百万円の増加となりました。その内訳は、流動資産が1,088百万円減少の28,455百万円、固定資産が1,750百万円増加の25,505百万円です。

流動資産の主な増減要因は、現金及び預金が448百万円の減少、受取手形及び売掛金が159百万円の減少、たな卸資産が537百万円の減少です。

固定資産の主な増減要因は、有形固定資産が1,403百万円の増加、無形固定資産が38百万円の減少、投資その他の資産が384百万円の増加です。

一方、負債合計は40,376百万円と前期末比657百万円の増加となりました。主な増減要因は、支払手形及び買掛金が819百万円の減少、短期借入金が290百万円の増加、未払法人税等が177百万円の減少、設備関係支払手形の増加を主因とするその他(流動負債)が427百万円の増加、長期借入金が777百万円の増加、退職給付に係る負債が112百万円の増加、リース債務の増加を主因とするその他(固定負債)が59百万円の増加です。

純資産は、13,584百万円と前期末比3百万円の増加となりました。主な増減要因は、利益剰余金が、配当金の支払いと親会社株主に帰属する四半期純損失により379百万円の減少、その他の包括利益累計額が384百万円の増加です。

その結果、自己資本比率は25.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は8,356百万円となり、前連結会計年度末と比較して448百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は656百万円の収入(前年同期比702百万円の収入減)となりました。収入の主な要因は、税金等調整前四半期純利益64百万円、減価償却費1,008百万円、退職給付に係る負債の増加額137百万円、為替差損142百万円、売上債権の減少額110百万円、たな卸資産の減少額505百万円等であり、支出の主な要因は、仕入債務の減少額789百万円、法人税等の支払額245百万円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は1,984百万円の支出(前年同期比2百万円の支出増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,914百万円等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は933百万円の収入(前年同期比349百万円の収入増)となりました。収入の主な要因は、短期借入金の純増額120百万円、長期借入金の純増額970百万円、セール・アンド・リースバックによる収入328百万円等であり、支出の主な要因は、リース債務の返済による支出164百万円、配当金の支払額319百万円等であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、売上高は、上期の実績が前回予想を下回ったことに伴い、通期予想も前回予想を下回る見通しです。下期も厳しい環境が続くことが予想されますが、上期対比では緩やかな回復を見込み、また、電子情報産業用の微細加工用樹脂は、上期からの好調を持続する見込みです。

利益面については、売上高が前回予想を下回ったことに加え、一部の原料において前回予想時の想定を超える値上がりが見込まれることから、前回予想を下回る見通しです。

その結果、2020年8月4日の「2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表いたしました2021年3月期の通期連結業績予想を変更しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,001	8,552
受取手形及び売掛金	9,992	9,833
たな卸資産	9,981	9,443
その他	568	630
貸倒引当金	△0	△5
流動資産合計	29,543	28,455
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,992	8,609
機械装置及び運搬具(純額)	2,343	2,788
土地	3,145	3,145
建設仮勘定	2,471	2,874
その他(純額)	2,410	2,349
有形固定資産合計	18,364	19,768
無形固定資産	1,119	1,080
投資その他の資産	4,271	4,656
固定資産合計	23,755	25,505
資産合計	53,298	53,960

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,326	6,506
短期借入金	6,491	6,782
1年内償還予定の社債	1,920	1,920
未払法人税等	278	101
賞与引当金	521	507
その他	2,974	3,402
流動負債合計	19,511	19,219
固定負債		
社債	2,700	2,700
長期借入金	10,131	10,909
退職給付に係る負債	5,443	5,555
資産除去債務	63	64
その他	1,867	1,927
固定負債合計	20,206	21,156
負債合計	39,718	40,376
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,755	1,755
資本剰余金	896	896
利益剰余金	9,555	9,176
自己株式	△6	△6
株主資本合計	12,201	11,821
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	875	1,309
為替換算調整勘定	800	735
退職給付に係る調整累計額	△367	△351
その他の包括利益累計額合計	1,308	1,692
非支配株主持分	71	69
純資産合計	13,580	13,584
負債純資産合計	53,298	53,960

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	20,973	18,883
売上原価	17,387	16,062
売上総利益	3,585	2,821
販売費及び一般管理費	2,640	2,565
営業利益	944	255
営業外収益		
受取利息	2	4
受取配当金	38	40
物品売却益	21	17
その他	21	57
営業外収益合計	84	120
営業外費用		
支払利息	98	116
為替差損	178	114
損害賠償金	33	—
その他	54	46
営業外費用合計	364	277
経常利益	664	99
特別利益		
投資有価証券売却益	2	—
子会社清算益	128	—
特別利益合計	130	—
特別損失		
固定資産廃棄損	19	30
投資有価証券評価損	—	4
特別損失合計	19	34
税金等調整前四半期純利益	775	64
法人税等	202	121
四半期純利益又は四半期純損失(△)	572	△57
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	572	△59



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	572	△57
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△126	433
為替換算調整勘定	△84	△66
退職給付に係る調整額	10	16
その他の包括利益合計	△200	382
四半期包括利益	371	325
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	373	325
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	△0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	775	64
減価償却費	942	1,008
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	20
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1	△13
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	125	137
受取利息及び受取配当金	△41	△45
支払利息	98	116
為替差損益 (△は益)	134	142
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	4
子会社清算損益 (△は益)	△128	—
固定資産廃棄損	19	30
売上債権の増減額 (△は増加)	1,285	110
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△79	505
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	—	△15
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,876	△789
その他	△150	△284
小計	1,104	991
利息及び配当金の受取額	41	45
利息の支払額	△147	△134
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	360	△245
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,358	656
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,929	△1,914
無形固定資産の取得による支出	△191	△40
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	18	—
子会社の清算による収入	137	—
その他	△12	△24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,982	△1,984
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△252	120
長期借入れによる収入	3,250	2,800
長期借入金の返済による支出	△1,872	△1,829
社債の発行による収入	293	—
社債の償還による支出	△300	—
セール・アンド・リースバックによる収入	—	328
リース債務の返済による支出	△276	△164
配当金の支払額	△255	△319
非支配株主への配当金の支払額	△1	△1
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	584	933
現金及び現金同等物に係る換算差額	△64	△54
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△103	△448
現金及び現金同等物の期首残高	8,068	8,805
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,965	8,356

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(たな卸資産の評価方法の変更)

従来、製品は総平均法に基づく原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より移動平均法に基づく原価法に変更しております。

この変更は、より迅速かつ適時な期間損益計算を行うことを目的とした新基幹システムの導入を契機として評価方法の見直しを行ったものであります。

なお、過去の連結会計年度について、移動平均法による計算を行うことが実務上不可能であり、遡及適用した場合の累積的影響額を算定することができないため、前連結会計年度末の帳簿価額を当連結会計年度の期首残高として計算しております。

この変更により、従来の方と比べて、当第2四半期連結会計年度末のたな卸資産の中の製品が93百万円減少しており、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ93百万円減少しております。

また、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

(追加情報)

2021年3月期第1四半期決算短信の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシャ リティー ケミカル	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	11,748	1,389	2,653	5,142	20,933	39	20,973	—	20,973
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	102	102	△102	—
計	11,748	1,389	2,653	5,142	20,933	142	21,076	△102	20,973
セグメント利益 又は損失(△)	689	△3	74	177	938	△5	932	12	944

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析及び物流倉庫業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額12百万円には、棚卸資産の調整額△10百万円等が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシャ リティー ケミカル	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	10,774	1,132	1,879	5,063	18,850	33	18,883	—	18,883
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	78	78	△78	—
計	10,774	1,132	1,879	5,063	18,850	111	18,961	△78	18,883
セグメント利益 又は損失(△)	316	△79	△10	105	332	△10	322	△66	255

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析及び物流倉庫業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△66百万円には、棚卸資産の調整額△43百万円等が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。

4. 会計方針の変更(たな卸資産の評価方法の変更)による影響額△93百万円の内、報告セグメント及びその他のセグメント利益又はセグメント損失(△)に△76百万円含まれており、調整額のセグメント利益又はセグメント損失(△)に△16百万円含まれております。なお、報告セグメント及びその他のセグメント利益又はセグメント損失(△)△76百万円の内訳は、界面活性剤△55百万円、樹脂△16百万円、化成品4百万円、スペシャリティーケミカル△5百万円、その他△3百万円であります。